

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2014-514220

(P2014-514220A)

(43) 公表日 平成26年6月19日(2014.6.19)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 85/10 (2006.01)	B 6 5 D 85/10	3 E 0 6 0
B 6 5 D 5/66 (2006.01)	B 6 5 D 5/66 3 O 1 C	3 E 0 6 8

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 21 頁)

(21) 出願番号	特願2014-505764 (P2014-505764)	(71) 出願人	392003937
(86) (22) 出願日	平成24年4月17日 (2012.4.17)		ジー・デー ソチエタ ペル アツィオニ
(85) 翻訳文提出日	平成25年10月17日 (2013.10.17)		G. D. SOCIETA PER AZI
(86) 国際出願番号	PCT/IB2012/051923		ONI
(87) 国際公開番号	W02012/143855		イタリア国, ボローニャ 40133, ビ
(87) 国際公開日	平成24年10月26日 (2012.10.26)		ア バッティンダルノ 91
(31) 優先権主張番号	B02011A000205	(74) 代理人	100099759
(32) 優先日	平成23年4月18日 (2011.4.18)		弁理士 青木 篤
(33) 優先権主張国	イタリア (IT)	(74) 代理人	100102819
			弁理士 島田 哲郎
		(74) 代理人	100123582
			弁理士 三橋 真二
		(74) 代理人	100153084
			弁理士 大橋 康史

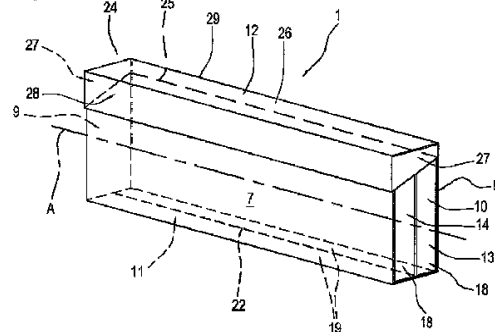
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 たばこ製品パケットのカートン箱

(57) 【要約】

たばこ製品のパケット(2)のカートン箱は、前壁(7)、後壁(8)、前壁(7)と後壁(8)に対して横方向の2側壁(9、10)、底壁(11)及び上壁(12)を成す複数の壁(7、8、9、10、11、12)を有し、カートン箱(1)は夫々が1列(15)のたばこ製品パケット(2)を含む少なくとも2つの容器(13、14)を有し、各容器(13、14)は側壁(7、8、9、10、11、12)の内の少なくとも1つの側壁に沿って設けられた少なくとも第1の予備折曲線及び/又は脆弱化線(22)に沿って互いに接続されると共に、容器(13、14)は、少なくとも本のように開いてパケット(2)を取り出せる位置と容器(13、14)が実質上隣り合い、かつ/又は重なり合うような閉じ位置との間で第1予備折曲線及び/又は脆弱化線(22)の周りで回転でき、カートン箱(1)は閉じ位置で容器(13、14)をロックする手段(24)を有する。

FIG.1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

複数の壁（ 7、 8、 9、 10、 11、 12 ）を有するたばこ製品のパケットのカートン箱であって、

カートン箱は夫々が少なくとも 1 列（ 15 ）のたばこ製品のパケット（ 2 ）を含む少なくとも 2 つの容器（ 13、 14 ）を有し、

各容器（ 13、 14 ）は、底壁（ 16 ）と、第 1 及び第 2 の小さい側壁（ 17、 18 ）と、第 1 及び第 2 の大きい側壁（ 19、 20 ）と、を有し、

第 1 及び第 2 容器（ 13、 14 ）の第 1 及び第 2 の小さい側壁（ 17、 18 ）は夫々カートン箱（ 1 ）の側壁（ 9、 10 ）を形成し、第 1 及び第 2 容器（ 13、 14 ）の第 1 の大きい側壁（ 19 ）はカートン箱（ 1 ）の底壁（ 11 ）を形成し、

各容器（ 13、 14 ）の底壁（ 16 ）は巻きたばこのパケット（ 2 ）の列（ 15 ）を収容するように設計され、

各パケット（ 2 ）は、その大きい側壁（ 6 ）が互いに平行に並び合い、パケット（ 2 ）の後壁（ 4 ）が容器の底壁（ 16 ）と接触するように規則正しく配置され、

容器（ 13、 14 ）は、壁（ 7、 8、 9、 10、 11、 12 ）の内の少なくとも 1 つの壁に沿って設けられた少なくとも第 1 の予備折曲線及び / 又は脆弱化線（ 22 ）に沿って互いに接続されると共に、本のように開いてパケット（ 2 ）を取り出せる位置と、容器（ 13、 14 ）が実質上隣り合い、かつ / 又は重なり合うような閉じ位置との間で、第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線（ 22 ）の周りで回転でき、

カートン箱（ 1 ）は閉じ位置で容器（ 13、 14 ）をロックする手段（ 24 ）を有することを特徴とするカートン箱。

【請求項 2】

壁（ 7、 8、 9、 10、 11、 12 ）は、前壁（ 7 ）と、後壁（ 8 ）と、前壁（ 7 ）と後壁（ 8 ）に対して横方向に延びる 2 つの側壁（ 9、 10 ）と、底壁（ 11 ）と、上壁（ 12 ）とを成し、ロック手段は少なくとも上壁（ 12 ）を少なくとも部分的に覆う少なくとも 1 つの蓋（ 24 ）を有すると共に、蓋は第 2 の予備折曲線及び / 又は脆弱化線（ 25 ）に沿って少なくとも 1 つの容器（ 13、 14 ）に接続することを特徴とする請求項 1 に記載のカートン箱。

【請求項 3】

容器（ 13、 14 ）が互いに対して回転できるように、第 2 の予備折曲線及び / 又は脆弱化線（ 25 ）は第 1 の予備折曲線及び / 又は脆弱化線（ 22 ）に対して平行又は横方向であることを特徴とする請求項 2 に記載のカートン箱。

【請求項 4】

蓋（ 24 ）は前壁（ 7 ）を部分的に覆うことを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載のカートン箱。

【請求項 5】

蓋（ 24 ）は、上壁（ 26 ）と、2 つの側壁又は側部（ 27 ）と、前壁（ 28 ）とを有し、カートン箱（ 1 ）が閉じ位置にある時は、蓋（ 24 ）は上壁（ 12 ）と、少なくとも部分的に、前壁（ 7 ）と側壁（ 9、 10 ）とを覆うことを特徴とする請求項 2 ~ 4 の何れか一項に記載のカートン箱。

【請求項 6】

第 2 の予備折曲線及び / 又は脆弱化線（ 25 ）はカートン箱（ 1 ）の上壁（ 12 ）の一端縁部に沿って設けられていることを特徴とする請求項 2 ~ 5 の何れか一項に記載のカートン箱。

【請求項 7】

第 2 の予備折曲線及び / 又は脆弱化線（ 25 ）はカートン箱（ 1 ）の後壁（ 8 ）に沿って設けられていることを特徴とする請求項 2 ~ 5 の何れか一項に記載のカートン箱。

【請求項 8】

第 2 の予備折曲線及び / 又は脆弱化線（ 25 ）はカートン箱（ 1 ）の上壁（ 12 ）に沿

10

20

30

40

50

って設けられていることを特徴とする請求項 2 ～ 5 の何れか一項に記載のカートン箱。

【請求項 9】

夫々の列 (1 5) にある各パケット (2) を夫々の容器 (1 3 、 1 4) 内に保持するための手段 (3 0) を有することを特徴とする請求項 1 ～ 8 の何れか一項に記載のカートン箱。

【請求項 1 0】

保持手段 (3 0) は、壁 (1 6) で塗布されて各パケット (2) と夫々の容器 (1 3 、 1 4) との間で一時的な接続部を形成する少なくとも 1 つの接着剤物質層を有することを特徴とする請求項 9 に記載のカートン箱。

【請求項 1 1】

保持手段 (3 0) は、各容器 (1 3 、 1 4) に関連して容器 (1 3 、 1 4) 内のパケット (2) の列 (1 5) を少なくとも部分的に覆う少なくとも 1 つの遮蔽部材 (3 1) を有することを特徴とする請求項 9 に記載のカートン箱。

【請求項 1 2】

遮蔽部材 (3 1) は少なくとも部分的に取り外し可能であることを特徴とする請求項 1 に記載のカートン箱。

【請求項 1 3】

底壁 (1 1) 又は 2 つの側壁 (9 、 1 0) のどちらかに設けられた容器 (1 3 、 1 4) を接続するための接続手段 (3 4) を有し、接続手段 (3 4) は予備折曲線及び / 又は脆弱化線 (2 2) を成すことを特徴とする請求項 1 ～ 1 2 の何れか一項に記載のカートン箱。

【請求項 1 4】

接続手段 (3 4) は、底壁 (1 1) 又は 2 つの側壁 (9 、 1 0) のどちらかを少なくとも部分的に覆うバンドを有することを特徴とする請求項 1 3 に記載のカートン箱。

【請求項 1 5】

バンドは、後壁 (8) 及び / 又は前壁 (7) を少なくとも部分的に覆うように延びることを特徴とする請求項 1 4 に記載のカートン箱。

【請求項 1 6】

蓋 (2 4) の所望されない開きを防止することができると共に、必要なら蓋 (2 4) の閉鎖中及び / 又は開放中に音を発することができる夫々の開口部 (3 6) と結合するための少なくとも 1 つの要素 (3 5) を有し、

結合要素 (3 5) は蓋 (2 4) の前壁 (2 8) の内面 (3 7) に配置され、対応する開口部 (3 6) はカートン箱 (1) の前壁 (7) に形成されることを特徴とする請求項 1 ～ 1 5 の何れか一項に記載のカートン箱。

【請求項 1 7】

蓋 (2 4) の所望されない開きを防止することができると共に、必要なら蓋 (2 4) の閉鎖中及び / 又は開放中に音を発することができる夫々の開口部 (3 6) と結合するための少なくとも 1 つの要素 (3 5) を有し、

結合要素 (3 5) はカートン箱 (1) の前壁 (7) に配置され、対応する開口部 (3 6) は蓋 (7) の前壁 (7) に形成されることを特徴とする請求項 1 ～ 1 5 の何れか一項に記載のカートン箱。

【請求項 1 8】

各容器 (1 3 、 1 4) は、パケットの除去を容易にするための少なくとも 1 つの領域 (2 1) を備えることを特徴とする請求項 1 ～ 1 7 の何れか一項に記載のカートン箱。

【請求項 1 9】

包装材料からなる少なくとも単一の平坦ブランクから形成されることを特徴とする請求項 1 ～ 1 8 の何れか一項に記載のカートン箱。

【請求項 2 0】

カートン箱は第 1 の容器 (1 3) と第 2 の容器 (1 4) とを有し、

容器 (1 3 、 1 4) は、主要な長手軸 (B) を有した包装材料の実質上矩形の第 1 の平

10

20

30

40

50

坦ブランク（４０）又は第２平坦ブランク（４１）から夫々得られ、

各ブランク（４０、４１）は、容器（１３、１４）の底壁（１６）を成す中央パネル（４２）と、長手軸（Ｂ）に対して実質上垂直な各折曲線（４４）によって中央パネル（４２）に夫々接続された第１小型サイドフラップ（４３）及び第２大型サイドフラップ（４４）と、長手軸（Ｂ）に対して実質上平行な各折曲線（５０）によって中央パネル（４２）に夫々接続された第１大型サイドフラップ（４６）及び第２小型サイドフラップ（４７）と、を有し、

第１大型サイドフラップ（４６）及び第２小型サイドフラップ（４７）は夫々、１組の舌部（４８）を有し、各組の舌部（４８）は長手軸（Ｂ）に対して実質上垂直な各折曲線（４５）によって各大型サイドフラップ（４６、４７）に接続され、第１小型サイドフラップ（４３）と第２大型サイドフラップ（４４）と第１大型サイドフラップ（４６）と第２小型サイドフラップ（４７）と各組の舌部（４８）とにより容器の各側壁（１７、１８、１９、２０）を形成することを特徴とする請求項１～１８の何れか一項に記載のカートン箱。

【請求項２１】

蓋（２４）及び容器（１３、１４）を接続するための手段（３４）は、包装材料からなる第３の平坦ブランク（５１）から得られることを特徴とする請求項２０に記載のカートン箱。

【請求項２２】

第３のブランク（５１）は実質上矩形であり、

第３のブランク（５１）は、

第１パネル（５２）と、

第２の予備折曲線及び／又は脆弱化線（２５）によって第１パネル（５２）に接続された第２パネル（５３）と、

第２の予備折曲線及び／又は脆弱化線（２５）に対して横方向の各折曲線（５５）によって第２パネル（５３）に接続された第１の組の側舌部（５４）と、

第２の予備折曲線及び／又は脆弱化線（２５）に平行な第１の折曲線（６０）によって前記第２パネル（５３）に接続された第３パネル（５９）と、

第２の予備折曲線及び／又は脆弱化線（２５）に対して横方向の各折曲線（６２）によって第３２パネル（５９）に接続された第２の組の側舌部（６１）と、

第２の予備折曲線及び／又は脆弱化線（２５）に平行な第２の折曲線（６０）によって第１パネル（５２）に接続された第４パネル（６８）と、

第２の予備折曲線及び／又は脆弱化線（２５）に平行な前記第１の予備折曲線及び／又は脆弱化線（２２）によって第４パネル（６８）に接続された第５パネル（７０）と、を有し、

第２パネル（５３）と第３パネル（５９）と各組の側舌部（５４、６１）は蓋（２４）を成し、第４パネル（６８）と第５パネル（７０）は容器（１３、１４）を接続する手段（３４）を形成することを特徴とする請求項２１に記載のカートン箱。

【請求項２３】

第３のブランク（５１）の第１パネル（５２）と第２パネル（５３）が、カートン箱（１）の後壁（８）を形成する容器（１３、１４）の内の一方の中央パネル（４２）に接続され、第３のブランク（５１）の第４パネル（６８）と第５パネル（７０）が、カートン箱（１）の底壁（１１）を形成する第１の容器（１３）及び第２の容器（１４）の夫々の第１大型サイドフラップ（４６）に接続されていることを特徴とする請求項２２に記載のカートン箱。

【請求項２４】

第３ブランク（５１）は、第２の予備折曲線及び／又は脆弱化線（２５）に平行な第３の折曲線（７２）により第５パネル（７０）に接続された第６パネル（７１）を有することを特徴とする請求項２２に記載のカートン箱。

【請求項２５】

10

20

30

40

50

第3ブランク(51)の第1パネル(52)と第2パネル(53)はカートン箱(1)の後壁(8)を形成する第1の容器(13)の中央パネル(42)に接続され、第3ブランク(51)の第4パネル(68)と第5パネル(70)はカートン箱(1)の底壁(11)を形成する第1の容器(13)及び第2の容器(14)の夫々の第1大型サイドフラップ(46)に接続され、第3ブランク(51)の第6パネル(71)はカートン箱(1)の前壁(7)を形成する第2の容器(14)の中央パネル(46)に接続されていることを特徴とする請求項24に記載のカートン箱。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

10

本発明は、たばこ製品パケットのカートン箱に関する。

【0002】

特に、本発明は、複数のシガレット・パケットを収容するためのカートン箱に関する。

【背景技術】

【0003】

一般的に、シガレット・パケットのためのカートン箱はヒンジが付いた蓋を備えた硬質包装体から成り、主に長手軸に沿って延びる直方体の形状を有している。

【0004】

このようなカートン箱は、下側にある容器と、この下側容器の一端縁部にヒンジ連結された上側のカップ状蓋とを有しており、同蓋は開いた位置と閉じた位置との間で回転できるようにになっている。

20

【0005】

下側の容器は、平行に向かい合った前壁及び後壁と、互いに平行でかつ前壁と後壁に垂直な2つの側壁と、底壁とを有する。

【0006】

容器の壁面寸法は、前壁及び/又は後壁に沿って5個のシガレット・パケットが接触した状態で配され、シガレット・パケットが2列重なり合った状態で収納できるような寸法となっている。上側の列、又は下側の列における各パケットは夫々小さい側壁に沿って互いに接触した状態にある。

【0007】

30

カートン箱が開放した位置では、上列を構成する箱に対してはユーザーが容易にアクセスできる一方、上列の箱を一旦取り除いた状態で下列の箱がアクセスできるようになっている。

【0008】

このようなパッケージでは、下側の列を成すシガレット・パケットを取り出す際にある程度の困難さがある可能性がある。実際、それは細長い直方体の形状であるために容器としてはそれらパケットの上壁までしかアクセスできず、それらの取り出しの妨げになっている。

【0009】

また、下側の列が一杯の場合には各パケットはお互い押圧した状態にあるためにパケットの取り出しが一層困難である。

40

【0010】

これらの条件では、パケットを取り出そうとする試みの間、ユーザーは、パケットを取り出すにあたってそれらを掴むことが困難であると分かるばかりか、カートン箱の硬い包装体を変形させたり凹ませたりする可能性があり、その完全性を損なうことにもなる。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0011】

本発明の目的は、上記の欠点を克服できるたばこパケットのカートン箱を提供することであり、換言すれば少なくとも2列で配置されたタバコ製品のパケットを容易に取り出す

50

ことができ、かつ使用中は硬い包装体の完全性が保たれるようなカートン箱を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0012】

指摘した技術的な目的と特定化された目標は、添付の特許請求の範囲に記載された特徴を有するたばこ製品のパケットのカートン箱によって達成される。

【0013】

本発明をその好ましい実施形態を示す添付図面に参照しながら以下、説明する。

【図面の簡単な説明】

【0014】

10

【図1】本発明によるカートン箱の斜視図であって、閉じた状態を示した図である。

【図2】本発明によるカートン箱の斜視図であって、半開きの状態を示した図である。

【図3】本発明によるカートン箱の斜視図であって、開いた状態を示した図である。

【図4】図3の詳細部を拡大した図である。

【図5】他の部分を見やすくするため幾つかの部分を取り除いた、開いた状態のカートン箱の斜視図である。

【図6】本発明によるカートン箱の代替実施形態の斜視図である。

【図7】本発明によるカートン箱の他の代替実施形態の斜視図である。

【図8】本発明によるカートン箱の他の代替実施形態の斜視図である。

【図9】半開き状態での、本発明によるカートン箱の第2実施形態の斜視図である。

20

【図10】図9のカートン箱の代替実施形態の斜視図である。

【図11】図9の拡大された詳細部の断面図である。

【図12】図1、図2及び図3のカートン箱を作るために使用されるブランクを示す平面図である。

【図13】図1、図2及び図3のカートン箱を作るために使用されるブランクを示す平面図である。

【図14】図9のカートン箱を作るために使用されるブランクの平面図である。

【図15】本発明によるカートン箱の第3実施形態の斜視図であって、閉じた状態の図である。

【図16】本発明によるカートン箱の第3実施形態の斜視図であって、開いた状態の図である。

30

【図17】本発明によるカートン箱の第4実施形態の斜視図であって、閉じた状態の図である。

【図18】本発明によるカートン箱の第4実施形態の斜視図であって、開いた状態の図である。

【図19】本発明によるカートン箱の第5実施形態の斜視図であって、閉じた状態の図である。

【図20】本発明によるカートン箱の第5実施形態の斜視図であって、開いた状態の図である。

【図21】本発明によるカートン箱の第1の代替実施形態の斜視図であって、半分開いた状態を示した図である。

40

【図22】図21のカートン箱を作るために使用される平らなブランクの平面図である。

【図23】本発明によるカートン箱の第2の代替実施形態の斜視図であって、閉じた状態の図である。

【図24】本発明によるカートン箱の第2の代替実施形態の斜視図であって、半分開いた状態の図である。

【図25】図23及び図24のカートン箱を作るために使用される平らなブランクの平面図である。

【発明を実施するための形態】

【0015】

50

図 1、図 2 及び図 3 を参照するに、符号 1 は、例えばシガレット・パケットのようなタバコ製品のパケット 2 のカートン箱全体を示している。一般的に、パケット 2 は、前壁 3 と、後壁 4 と、2 つの小さい側壁 5 と、2 つの大きい側壁 6 からなる直方体の形状を有する。

【0016】

カートン箱 1 は長手軸線 A に沿って延びている。特に、それは実質的に直方体の形状を有する。

【0017】

カートン箱 1 は、夫々 7、8、9、10、11 及び 12 の符号が付いた複数の壁を有する。

【0018】

特に壁は、前壁 7 と、後壁 8 と、前壁 7 及び後壁 8 に対して横方向に延びる 2 つの側壁 9、10 と、底壁 11 と、上壁 12 から構成されている。

【0019】

カートン箱 1 には少なくとも 2 つの容器 13、14 があり、その夫々が少なくとも 1 列 15 のタバコ製品のパケット 2 を含んでいる。この特定ケースでは、夫々の列 15 には 5 個のシガレット・パケット 2 がある。

【0020】

以下、上記容器を第 1 の容器 13 及び第 2 の容器 14 と呼ぶ。

【0021】

夫々の容器 13、14 は、底壁 16 と、第 1、第 2 の小さい側壁 17、18 と、第 1、第 2 の大きい側壁 19、20 とを有する。

【0022】

各容器 13、14 の第 1、第 2 の小さい側壁 17、18 は、カートン箱 1 の側壁 9、10 を夫々形成する。

【0023】

各容器 13、14 の第 1 の大きい側壁 19 は、カートン箱 1 の底壁 11 を形成する。

【0024】

各容器 13、14 は、パケット 2 の取り出しを容易にするための、少なくとも 1 つの領域 21 を有する。

【0025】

その取り出し領域 21 では、列が完全な状態でパケット 2 を列 15 から容易に取り出すことができ、このようにして一旦列 15 内の最初のパケット 2 が取り出されたならば、残りのパケット 2 の取り出しも容易になる。

【0026】

取り出し領域 21 は U 字状の切り欠きによって形成される。

【0027】

或いは、取り出し領域 21 は任意の形状を有する切り欠きによって形成しても良い。

【0028】

好ましくは、各容器 13、14 の第 2 の大きい側壁 20 はその中央部に切り欠き 21 を有する。

【0029】

更に、第 1 及び第 2 の大きい側壁 19、20 の両方が「U」字状の切り欠き 21 を有する。

【0030】

各容器 13、14 の底壁 16 は、シガレットのパケット 2 の列 15 を収容するように設計されている。特に、パケット 2 は、それらの後壁 4 が底壁 16 と接触し、パケットの大きい側壁 6 同士が互いに並ぶように整然と配列される。これに代わるものとして、パケット 2 は、大又は小の側壁 5、6 が各容器 13、14 の底壁 16 に接触するように、互に対向する各容器 13、14 内に配置されるようにしても良い。

10

20

30

40

50

【0031】

第1及び第2の容器13、14は、カートン箱1の底壁11に沿って設けられた少なくとも第1の予備折曲線及び／又は脆弱化線22に沿って互いに対して接続される。

【0032】

このように、容器13、14は、本のように開いてバケット2を取り出せる位置と容器13、14が実質上隣り合い、かつ／又は重なり合うような閉じ位置との間で第1予備折曲線及び／又は脆弱化線22の周りで回転可能である。

【0033】

閉じ位置では、各容器13、14の「U」字状切り欠き21は図2に示すように互いに向かい合い、ユーザーによるカートン箱1の開口に好ましい領域23を形成している。

10

【0034】

カートン箱1は又、それ自身を閉じ位置に保持するためのロック手段24を備える。

【0035】

ロック手段は少なくとも上壁12を少なくとも部分的に覆う蓋24を有している。カートン箱1の図示しない実施形態では、部分的に予備折曲線及び／又は脆弱化線に沿い、夫々対をなして相互に接続された2つ以上の容器を部分的に覆うように設計された2つ以上の蓋24が存在する。

【0036】

蓋24は、第2予備折曲線及び／又は脆弱化線25に沿って容器13、14の少なくとも一方に接続される。好ましくは、蓋24は第1の容器13に接続される。

20

【0037】

この場合、第2予備折曲線及び／又は脆弱化線25はカートン箱1の後壁8に沿って設けられる。

【0038】

特に、蓋24は上壁26、2つの側壁又は側部27及び前壁28を有する。

【0039】

カートン箱1が閉じ位置にある場合、蓋24は上壁12と、少なくとも部分的に前壁7及び側壁9、10を覆う。

【0040】

図示されていない実施形態では、蓋24が上壁12と前壁28を有し、上壁12を覆うと共にカートン箱の前壁7を部分的に覆う。

30

【0041】

図1に示された第1実施形態では、第2予備折曲線及び／又は脆弱化線25は容器13、14を相対的に回転するための第1予備折曲線及び／又は脆弱化線22と平行である。

【0042】

図示されていない実施形態では、第2予備折曲線及び／又は脆弱化線25は、カートン箱1の上壁12の一端縁部29に沿って設けられるものでも良く、或いはカートン箱1の上壁12に沿って設けられるものでも良い。

【0043】

カートン箱1は又、夫々の列15の各バケット2を夫々の容器13、14に保持するための手段30を有する。

40

【0044】

好ましくは、この保持手段は、底壁16に塗布されてユーザーがバケット2を取り出すまで各バケット2と各容器13、14との間に一時的な接続を成す少なくとも1つの粘着物質層30を有する。この粘着物質は、例えば乾燥しないで再配置することができる接着剤のように弱い接着作用を持つことが好ましい。

【0045】

図示されない実施形態では、保持手段30は、バケット2がカートン箱1から脱落するのを防止するように適当な形状を有して各容器13、14に固定されるか或いは容器13、14の一部である包装材料からなる平坦ブランクから得ることができるだろう。例えば

50

、図 6、図 7 及び図 8 を見れば、カートン箱 1 の保持手段 30 は、各容器 13、14 に関連して容器 13、14 内のパケット 2 の列 15 を少なくとも部分的に覆う、少なくとも 1 枚の遮蔽要素 31 を有する。例えば、この遮蔽要素 31 は、包装材料やプラスチック材や別の種類の材料からなるパネルであっても良い。特に図 6 の場合では、遮蔽要素 31 はパケット 2 の列 15 を完全に覆うものであり、ユーザーが一度に 1 つの容器 13、14 のパケット 2 の列 15 にアクセスできるように完全に除去可能になっている。図 7 では遮蔽要素 31 は、パケットの取り出しを容易にするために、パケット 2 の少なくとも一部分を見える形で残し、パケット 2 を部分的に遮蔽している。また、図 8 では遮蔽要素 31 は部分的に除去可能になっている。実際には、連続的なプレカットライン 32 により遮蔽部材 31 の第 1 の部分 33 a の除去が可能になり、第 2 の部分 33 b はパケット 2 を少なくとも部分的に遮蔽した状態になる。

10

【0046】

カートン箱 1 は底壁 11 に容器 13、14 を接続する手段 34 を有する。具体的には、その接続手段 34 が前記第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 22 を成す。

【0047】

図示されない実施形態では、接続手段 34 は底壁 11 をなくとも部分的に覆う帯を有する。帯は、それが少なくとも部分的に後壁 8 及び / 又は前壁 7 を覆うように延びても良い。

【0048】

図 10 を参照するに、カートン箱 1 は、各開口部 36 に結合して蓋 24 の所望されない開きを回避したり、必要に応じてロック手段 24 の閉じ動作及び / 又は開き動作中に音を発したりすることができる少なくとも 1 つの要素 35 を有する。結合要素 35 は、蓋 24 の前壁 28 の内面 37 に配置され、これに対応する開口部 36 は箱 1 の前壁 7 に形成される。

20

【0049】

図示されない実施形態では、結合要素 35 はカートン箱 1 の前壁 7 に配置され、対応する開口部 36 は蓋 24 の前壁 28 に形成される。

【0050】

結合要素 35 及び開口部 36 は、詳細な説明に関して、その全体がここで参照されるイタリヤ特許出願 B O 2 0 1 1 A 0 0 0 1 5 1 号に記載されたタイプのものである。

30

【0051】

図 10 に示された第 2 実施形態によれば、結合要素 35 と夫々の開口部 36 は丸い形状をしており、蓋 24 の内面 27 とカートン箱 1 の前壁 7 の中央に夫々配置される。

【0052】

代替実施形態では、状況に応じて 2 つ以上の結合要素 35 と夫々の開口 36 が設けられるかもしれない。例えば、図 10 では、中心から外れた位置にある 2 つの結合要素 35 と夫々の開口部 36 を示している。

【0053】

結合要素 35 は接着された上側部分 38 と接着されていない下側部分 39 とを有するように、前壁 28 の内面 37 に部分的に接着されているだけである。開口部 36 はカートン箱 1 の前壁 7 を貫通する孔である。

40

【0054】

下側部分 39 は内面 37 に接着されていないため、それは、結合要素 35 が「クリック」音を出しながら開口部 36 (図 10) に入出する度に蓋 24 の各開き / 閉じ作用と共に徐々に曲がる。

【0055】

図 15 及び図 16 に示すカートン箱 1 の第 3 の実施形態は、容器 13、14 が 2 つの側壁 9、10 の一方に沿って設けられた第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 22 に沿って互いに接続されたという点で第 1 の実施形態と異なる。したがって、容器 13、14 を接続する手段 34 は第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 22 を形成する 2 つの側壁 9、10 の

50

いずれか一方に設けられている。

【0056】

その結果、カートン箱 1 の後壁 8 に沿って設けられた第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 25 は、容器 13、14 の相対的な回転のための第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 22 に対して横断する。

【0057】

図 17 及び図 18 の第 4 実施形態を参照すると、第 1 及び第 2 の容器 13、14 の第 2 の小さい側壁 18 は底壁 11 を成す一方、第 1 及び第 2 の容器 13、14 の第 1 及び第 2 の大きい側壁 19、20 はカートン箱の側壁 9、10 を夫々形成する。

【0058】

第 1 実施形態と同様に、容器 13 及び 14 は、底壁 11 に沿って設けられた第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 22 に沿って互いに接続されている。このため、容器 13、14 を接続するための手段 34 が底壁 11 に設けられる。

【0059】

第 1 実施形態と同様に、第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 25 はカートン箱 1 の後壁 8 に沿って設けられ、それは容器 13、14 の相対的な回転のための第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 22 に対し平行に走る。

【0060】

図 19 及び図 20 に示す第 5 実施形態は、容器 13 及び 14 が 2 つの側壁 9、10 の内の一方に沿って設けられた第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 22 に沿って互いに接続されているという点で、カートン箱 1 の第 4 実施形態と異なる。

【0061】

このため、容器 13 及び 14 を接続するための手段 34 は側壁 9、10 の一方に設けられ、第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 22 を成す。

【0062】

この場合には、カートン箱 1 の後壁 8 に沿って設けられた第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 25 は、容器 13、14 の相対的な回転のための第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 22 に対して横断する。

【0063】

図示されない実施形態では、第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 22 は上壁 12 に沿って設けられる。

【0064】

記載されたカートン箱 1 は、包装材料からなる少なくとも 1 枚の平坦なブランクを始めとして作られる。

【0065】

図 12 及び図 13 は、図 1、図 2 及び図 3 に示すカートン箱 1 の実施形態を作るために包装材料からなる 3 枚の平坦ブランクを示している。

【0066】

第 1 及び第 2 の容器 13 及び 14 は、包装材料からなる第 1 及び第 2 の平坦なブランク 40、41 から夫々得られる。各ブランク 40、41 は主長手軸 B を伴った実質上直方体の形をしている。

【0067】

図 13 に関し、ブランク 40、41 の各々は、第 1 及び第 2 の容器 13、14 の底壁 16 を形成する中央パネル 42 を有する。

【0068】

ブランク 40、41 は又、第 1 及び第 2 の小型サイドフラップ 43、44 を有し、各フラップは、長手軸 B に対して実質的に垂直な夫々の折曲線 45 によって中央パネル 42 に接続される。

【0069】

ブランク 40、41 は又、第 1 及び第 2 の大型サイドフラップ 46、47 を有し、各フ

10

20

30

40

50

ラップは、長手軸 B に対して実質的に平行な夫々の折曲線 5 0 によって中央パネル 4 2 に接続される。

【 0 0 7 0 】

第 1 及び第 2 大型サイドフラップ 4 6、4 7 は夫々 1 組の舌部 4 8 を有し、各舌部はブランク 4 0、4 1 の長手軸 B に対して実質的に垂直な折曲線 4 5 によって夫々、大型サイドフラップ 4 6、4 7 に接続される。具体的には、第 1 及び第 2 小型サイドフラップ 4 3、4 4 と第 1 及び第 2 大型サイドフラップ 4 6、4 7 と夫々の組の舌部 4 8 とが容器 1 3、1 4 の各側壁 1 7、1 8、1 9 及び 2 0 を形成する。

【 0 0 7 1 】

「U」字状の切り欠き 2 1 は、大型サイドフラップ 4 6、4 7 の少なくとも一方に作られる。正確には、図 1 3 では各ブランク 4 0、4 1 が唯一の切り欠き 2 1 を有し、それは、ブランク 4 0 及び 4 1 の外側に向かう開口部を備えて第 2 の大型サイドフラップ 4 7 の略中央位置に設けられる。

【 0 0 7 2 】

ロック手段 2 4 と容器 1 3、1 4 の接続手段 3 4 は包装材料からなる第 3 の平坦ブランク 5 1 から得られる。

【 0 0 7 3 】

図 1 2 に示す第 3 のブランク 5 1 は略矩形状である。

【 0 0 7 4 】

第 3 ブランク 5 1 は、第 1 パネル 5 2 と、第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 5 によって第 1 パネル 5 2 に接続された第 2 パネル 5 3 とを有する。

【 0 0 7 5 】

側舌部 5 4 は夫々、略矩形状の第 1 の部分 5 6 を有し、その部分は第 1 の脆弱化線 5 7 によって第 2 の部分 5 8 に接続されており、さらにその第 2 部分は折曲線 5 5 によって第 2 パネル 5 3 に接続される。

【 0 0 7 6 】

第 3 パネル 5 9 は、第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 5 に平行な第 1 予備折曲線 6 0 により第 2 パネル 5 3 に接続されている。第 2 の組の側舌部 6 1 は、第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 5 に対して横方向の各折曲線 6 2 によって第 3 パネル 5 9 に接続されている。特に、第 3 パネル 5 9 は第 1 折曲線 6 0 により第 2 パネル 5 3 に接続された第 1 のサブパネル 6 3 を有する。

【 0 0 7 7 】

第 2 サブパネル 6 4 は最初の第 2 脆弱化線 6 5 によって第 1 サブパネル 6 3 に接続されている。又、突き出し部 6 6 は 3 番面の第 2 脆弱化線 6 7 によって第 2 サブパネル 6 4 に接続される。

【 0 0 7 8 】

側舌部 6 1 は第 2 サブパネル 6 4 に折曲線 6 2 によって接続される。

【 0 0 7 9 】

第 1 サブパネル 6 3 は蓋 2 4 の上壁 2 6 を成すように設計される。

【 0 0 8 0 】

第 2 サブパネル 6 4 と突き出し部 6 6 は蓋 2 4 の前壁 2 8 を成すように設計されている。突き出し部 6 6 は蓋 2 4 の前壁 2 8 の補強要素である。

【 0 0 8 1 】

第 4 パネル 6 8 は、第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 5 と平行な第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 2 によって第 1 パネル 5 2 に接続されている。

【 0 0 8 2 】

第 5 パネル 7 0 は、第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 5 と平行な第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 2 によって第 4 パネル 6 8 に接続されている。

【 0 0 8 3 】

第 2 及び第 3 パネル 5 3、5 9 と各組の側舌部 6 1 はカートン箱 1 のロック手段 2 4 を

10

20

30

40

50

成し、第 4 及び第 5 パネル 6 8、7 0 は容器 1 3、1 4 を接続するための手段 3 4 を形成する。

【0084】

第 3 のブランク 5 1 は又、第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 2 に平行な第 3 の折曲線 7 2 によって第 5 パネル 7 0 に接続された第 6 パネル 7 1 を有する。

【0085】

第 3 ブランク 5 1 の第 1、第 2 パネル 5 2、5 3 はカートン箱 1 の後壁 8 を形成する第 1 容器 1 3 の中央パネル 4 2 に接続されている。第 3 ブランク 5 1 の第 4 及び第 5 パネル 6 8、7 0 は、カートン箱 1 の底壁 1 1 を形成する各第 1 及び第 2 の容器 1 3、1 4 夫々の第 1 大型サイドフラップ 4 6 に夫々接続されている。

10

【0086】

第 3 ブランク 5 1 の第 6 パネル 7 1 は、カートン箱 1 の前壁 7 を形成する第 2 容器 1 4 の中央パネル 4 2 に接続されている。

【0087】

図 1 4 では第 3 のブランク 5 1 は、第 6 パネル 7 1 を持たないことにより前述のブランク 5 1 とは異なる。この場合、第 3 のブランク 5 1 の第 1 及び第 2 のパネル 5 2、5 3 は、カートン箱 1 の後壁 8 を形成する容器 1 3、1 4 の一方の中央パネル 4 2 に接続される。第 3 のブランク 5 1 の第 4 及び第 5 パネル 6 8、7 0 はその第 2 実施形態のカートン箱 1 の底壁 1 1 を形成する夫々の第 1 及び第 2 の容器 1 3、1 4 の各々の第 1 大型サイドフラップ 4 6 に接続されている。

20

【0088】

代替実施形態として、カートン箱は包装材料から成る少なくとも単一のフラットブランク 7 5、7 6 から得るようにしても良い。

【0089】

図 2 2 に示すように、平坦なブランク 7 5 は第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 5 によって接続された下側部分 7 5 a と上側部分 7 5 b を有する。

【0090】

下側部分 7 5 a は容器 1 3、1 4 を形成するように設計される一方、上側部分 7 5 b は蓋 2 4 を成すように設計される。

【0091】

30

下側部分 7 5 a は第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 2 に沿って上述した第 1 及び第 2 平坦ブランク 4 0、4 1 を接合することで形成されている。特に、第 1 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 2 は各ブランク 4 0、4 1 の第 1 の大型サイドフラップ 4 6 と夫々の組の舌部 4 8 を結合する。第 1、第 2 ブランク 4 0、4 1 と同様に、各容器 1 3、1 4 の第 2 の大型サイドフラップ 4 7 はその中に「U」字状の切欠き 2 1 を有しても良い。

【0092】

第 7 のパネル 7 3 は第 4 の折曲線 7 4 により第 2 大型サイドフラップ 4 7 に接続される。

【0093】

第 7 パネル 7 3 は更に、第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 5 に接続される。

40

【0094】

ブランク 7 5 の上側部分 7 5 b は、2 つの側舌部 5 4 が折曲線 5 5 によって第 1 サブパネル 6 3 に接続された第 1 の部分 5 8 によって形成されるという事実によってのみ図 1 2 及び図 1 4 に示す第 3 パネル 5 9 と異なる。

【0095】

このため、図 2 1 に示すカートン箱 1 は平坦なブランク 7 5 から得られる。具体的には、第 7 パネル 7 3 は、保持手段 3 0 によって容器 1 3 の第 2 大型サイドフラップ 4 7 に接続されるようにしても良い。

【0096】

図 2 5 を参照すると、平らなブランク 7 6 は第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 5 に

50

よって接続された下側部分 7 6 a と上側部分 7 6 b を有する。

【 0 0 9 7 】

部分 7 6 b は部分 7 5 b に類似しており、このため同部分は蓋 2 4 を形成するように設計される。

【 0 0 9 8 】

下側部分 7 6 a は部分 7 5 a と類似しているが第 7 パネル 7 3 はなく、このため第 2 の大型サイドフラップ 4 7 は第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 5 によって第 1 のサブパネル 6 3 に接続されている。

【 0 0 9 9 】

従って、図 2 3 及び図 2 4 に示すカートン箱 1 は平坦ブランク 7 6 から得られる。この場合、図 2 3 に示すように、蓋 2 4 がカートン箱 1 における閉じた位置にある時、同蓋は第 2 容器 1 4 の第 2 の大きい側壁 2 0 を覆うと共に、前壁 7 と側壁 9、1 0 を少なくとも部分的に覆う。このため第 2 予備折曲線及び / 又は脆弱化線 2 5 はカートン箱 1 の上壁 1 2 に沿って配置されている。

【 0 1 0 0 】

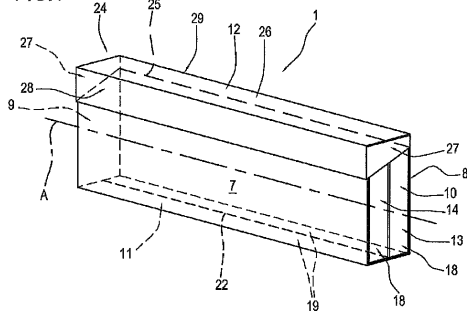
以上の説明から、容器 1 3 及び 1 4 の回転がどのようにしてカートン箱 1 の開放を容易にし、以てユーザーによるシガレットのパケット 2 の取り出しが可能となり、カートン箱 1 が凹んだり変形したりするのを回避できるかが明白である。従って、容器 1 3、1 4 が本のように開いた状態は、機能的で取り扱い容易なだけでなく心地良い使用感を供するカートン箱 1 を獲得する必要性を満たしている。

10

20

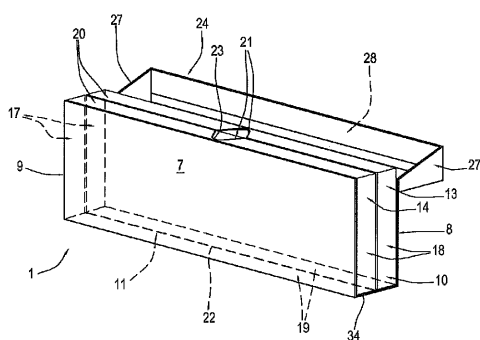
【 図 1 】

FIG.1



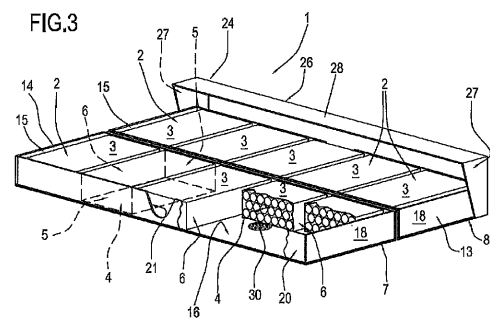
【 図 2 】

FIG.2



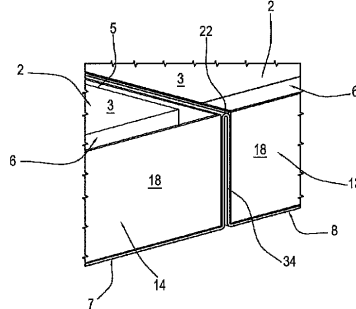
【 図 3 】

FIG.3



【 図 4 】

FIG.4



【 図 5 】

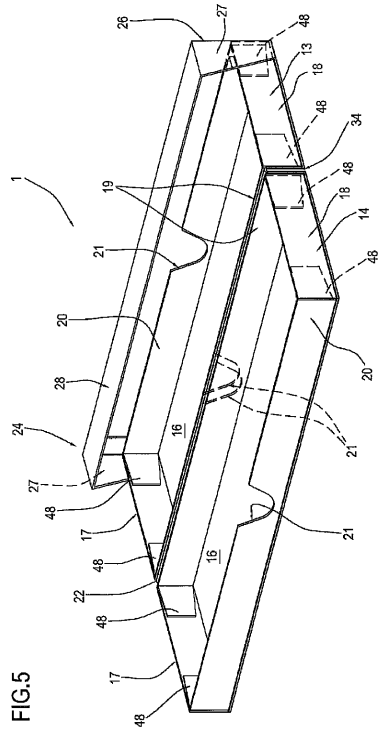
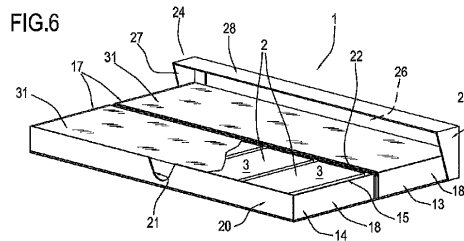


FIG.5

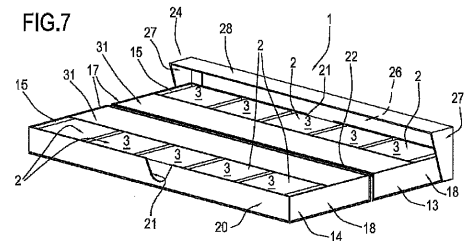
【 図 6 】

FIG.6



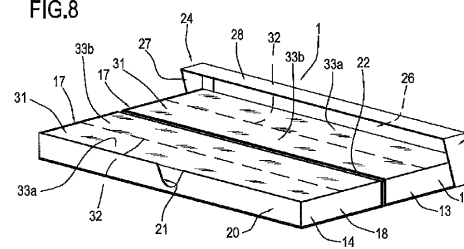
【 図 7 】

FIG.7



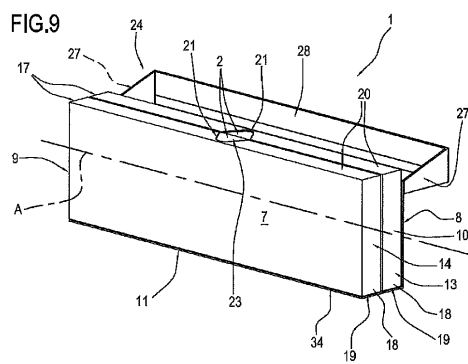
【 図 8 】

FIG.8



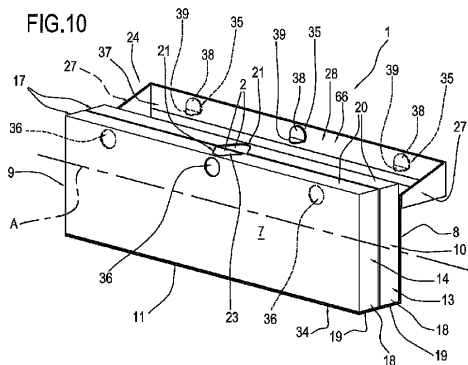
【 図 9 】

FIG.9



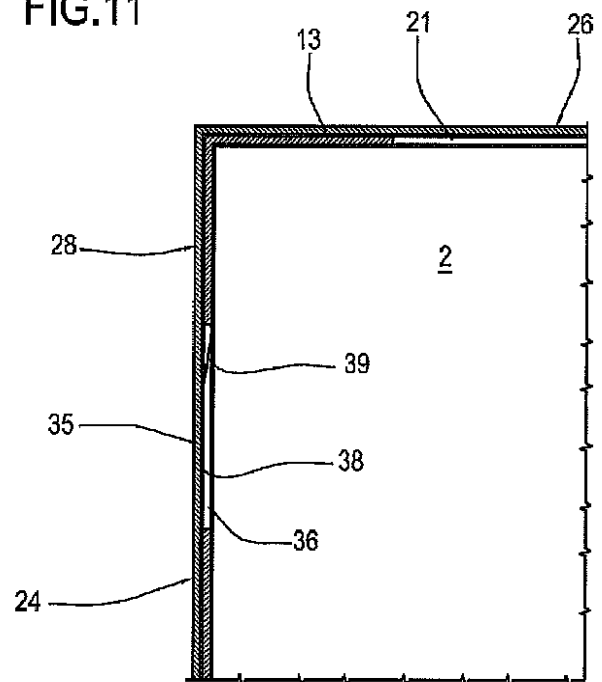
【 図 1 0 】

FIG.10

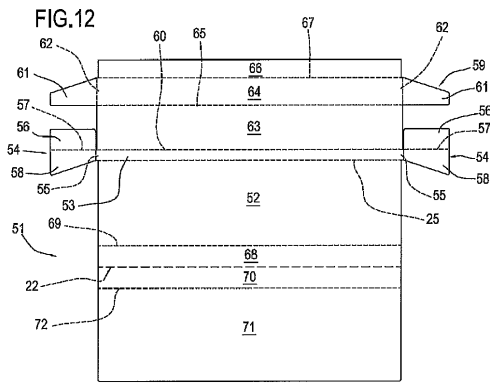


【 図 1 1 】

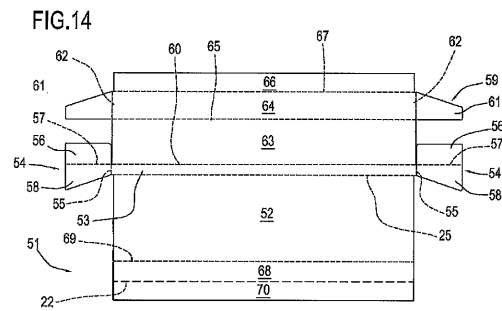
FIG.11



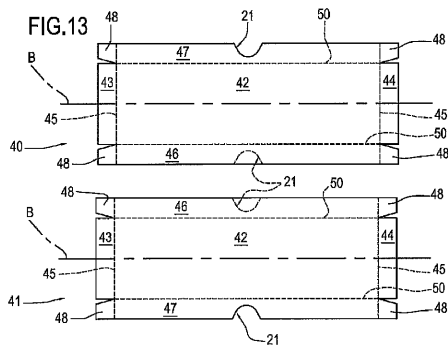
【 図 1 2 】



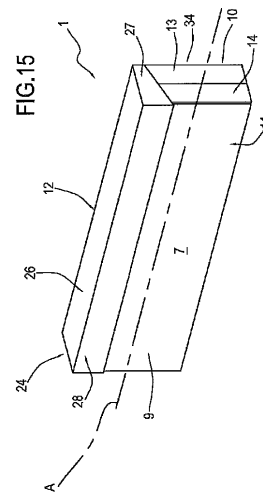
【 図 1 4 】



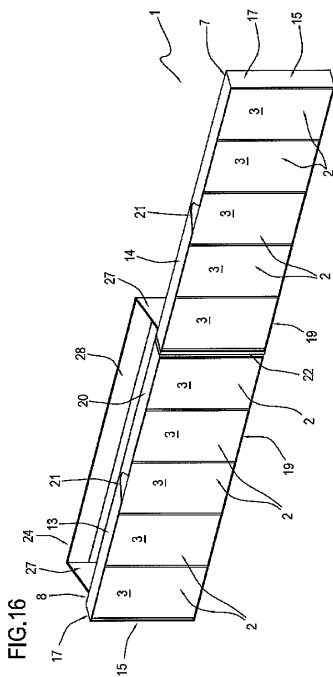
【 図 1 3 】



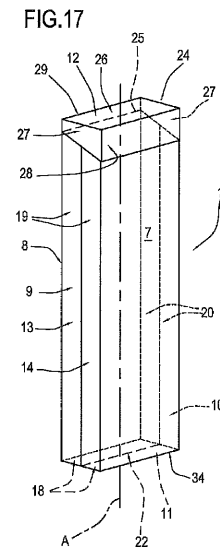
【 図 1 5 】



【 図 1 6 】

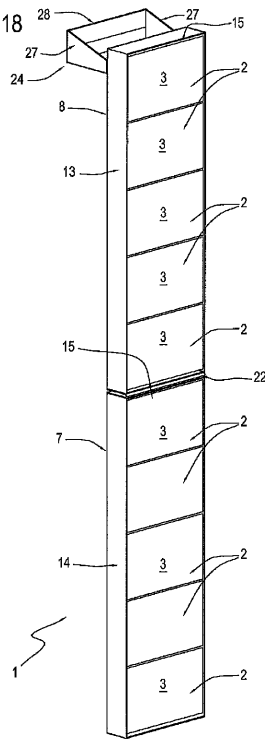


【 図 1 7 】



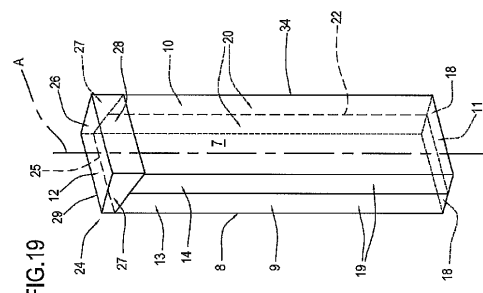
【図 18】

FIG.18

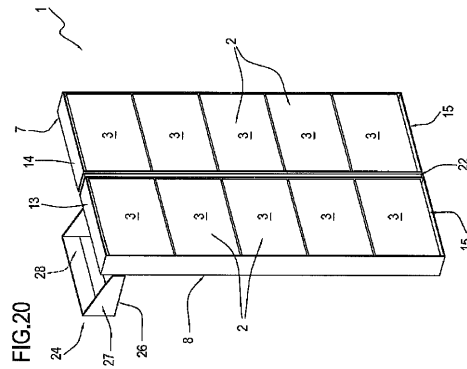


【図 19】

FIG.19

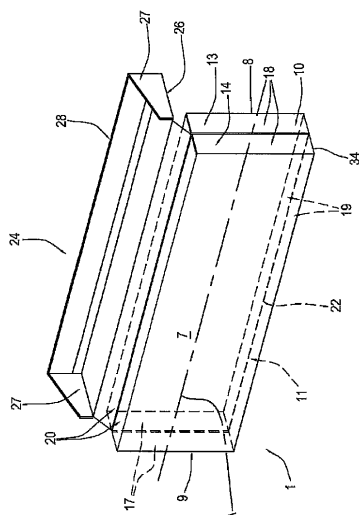


【図 20】

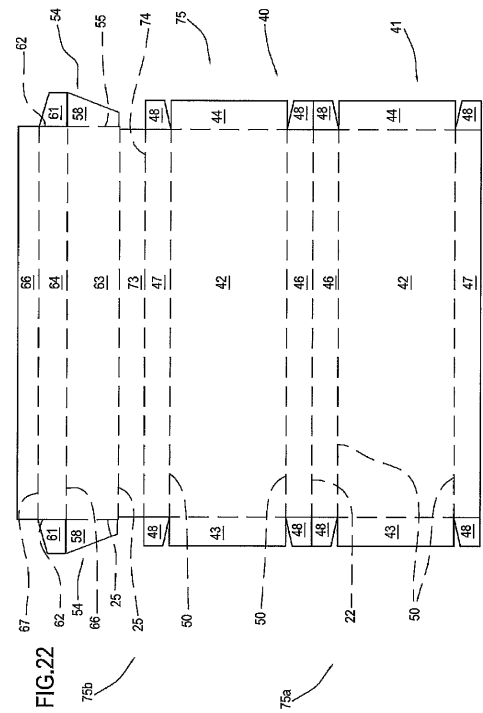


【図 21】

FIG.21

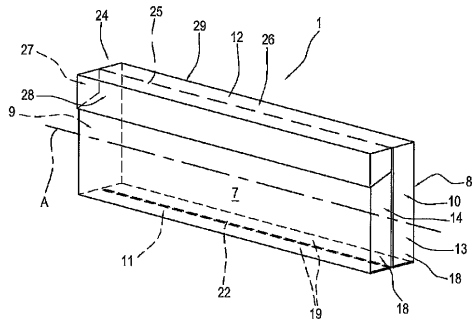


【図 22】



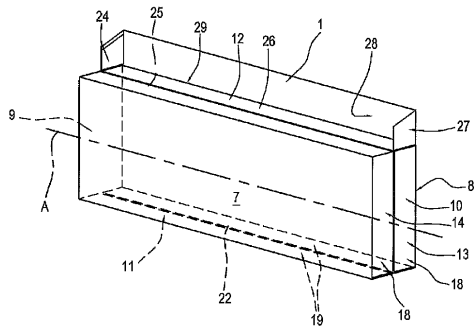
【図 2 3】

FIG.23

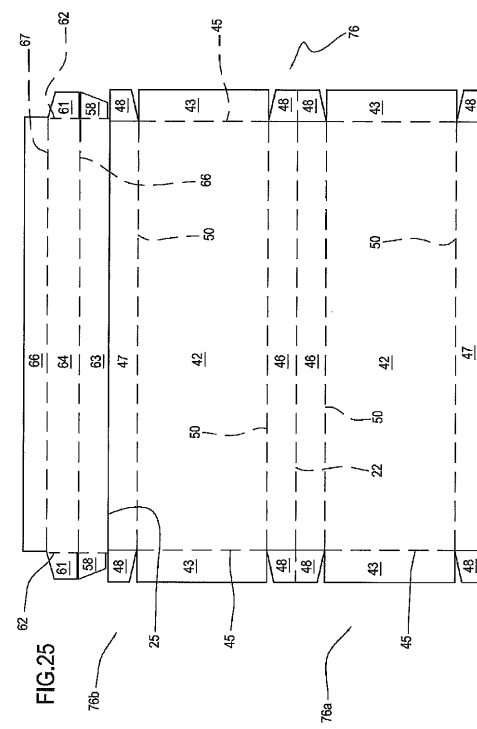


【図 2 4】

FIG.24



【図 2 5】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No

PCT/IB2012/051923

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

INV. B65D5/52 B65D85/10
ADD.

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B65D

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

EPO-Internal

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	WO 2009/021856 A1 (BRITISH AMERICAN TOBACCO LTD [GB]; STEPHENSON DARRYL [GB]; GIBSON PAUL) 19 February 2009 (2009-02-19)	1-8, 13-15, 19-25
Y	page 23, line 17 - page 36, line 22; figures 1-19	9,10,16, 17
Y	----- US 2004/118713 A1 (FATH SCOTT A [US] ET AL) 24 June 2004 (2004-06-24) paragraph [0037] - paragraph [0039]; figures 1-12	9,10
Y	----- EP 0 884 247 A1 (JAPAN TOBACCO INC [JP]) 16 December 1998 (1998-12-16) column 6, line 26 - column 7, line 11; figures 1-7	16,17
	----- -/--	

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents :

A document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

E earlier application or patent but published on or after the international filing date

L document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

O document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

P document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

T later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

X document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

Y document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

& document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

2 July 2012

Date of mailing of the international search report

10/07/2012

Name and mailing address of the ISA/

European Patent Office, P.B. 5818 Patentplan 2
NL - 2280 HV Rijswijk
Tel. (+31-70) 340-2040,
Fax: (+31-70) 340-3016

Authorized officer

Grondin, David

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No

PCT/IB2012/051923

C(Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	WO 2006/067621 A1 (GD SPA [IT]; GHINI MARCO [IT]; POLLONI ROBERTO [IT]; NEGRINI STEFANO []) 29 June 2006 (2006-06-29) page 3, line 9 - page 12, line 30; figures 1-17 -----	1-9,11, 12,18-25
X	US 2 541 258 A (LANE LOUIS I) 13 February 1951 (1951-02-13) column 2, line 2 - column 3, line 20; figures 1-5 -----	1-4,7, 11,18,19

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No

PCT/IB2012/051923

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
WO 2009021856 A1	19-02-2009	AR 067950 A1 AT 506289 T AU 2008288525 A1 EP 2200908 A1 JP 4909436 B2 JP 2010536663 A KR 20100044894 A RU 2010109448 A TW 200938104 A WO 2009021856 A1 ZA 201000755 A	28-10-2009 15-05-2011 19-02-2009 30-06-2010 04-04-2012 02-12-2010 30-04-2010 27-09-2011 16-09-2009 19-02-2009 27-10-2010
US 2004118713 A1	24-06-2004	AU 2003299739 A1 US 2004118713 A1 WO 2004056663 A2	14-07-2004 24-06-2004 08-07-2004
EP 0884247 A1	16-12-1998	CN 1206384 A DE 69719960 D1 DE 69719960 T2 EP 0884247 A1 JP 10129656 A US 6105856 A WO 9818683 A1	27-01-1999 24-04-2003 04-12-2003 16-12-1998 19-05-1998 22-08-2000 07-05-1998
WO 2006067621 A1	29-06-2006	AT 457278 T EP 1838599 A1 JP 2008525279 A KR 20070086612 A US 2008047852 A1 WO 2006067621 A1	15-02-2010 03-10-2007 17-07-2008 27-08-2007 28-02-2008 29-06-2006
US 2541258 A	13-02-1951	NONE	

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, T
J, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, R
O, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,
BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, H
U, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI
, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US,
UZ, VC, VN

(74)代理人 100160705

弁理士 伊藤 健太郎

(74)代理人 100157211

弁理士 前島 一夫

(72)発明者 アルベール タッキ

イタリア国, イ - 4 0 1 3 3 ボローニャ, ピア ビットリア, 2

(72)発明者 アンドレア ビオンディ

イタリア国, イ - 4 0 1 3 3 ボローニャ, ピア ピアーベ, 6

F ターム(参考) 3E060 AA03 AC02 AC03 CE04 CE07 CE23 DA17 EA20

3E068 AA21 AB02 AB03 AB04 AB05 AC02 AC10 BB08 BB12 BB17

CC03 CD01 CD02 CD03 CE02 DD02 DD03 DD25 DE06 DE16

DE17 EE32 EE40